



花とみどり 第3号

令和8年5月25日
飯塚市立庄内中学校
校長 岡松 範諭

《 生徒達の大きな成長!! 感動の第80回体育会 》

今年の体育会は、わずか1週間という短い練習期間でしたが、庄内中学校の子どもたちは驚くほどの成長を見せてくれました。その舞台裏には、これからの時代を生き抜く「生きる力」の輝きがありました。



■ 伝統を創る、リーダーたちの「自己調整力」

成功の原動力となったのは、毎日の練習後に開かれた「リーダー会」です。リーダーたちは先生（各学年や体育科の先生方）と打ち合わせを重ねながら、「明日の目標は何か」「どうすればみんなの心が動くか」を真剣に話し合い、翌日の練習内容を自分たちの手で修正し続けました。まさに、課題を見つけ、粘り強く解決していく姿そのものでした。また、体育会全体の舵取りを担った生徒会リーダーたちは、「全校生徒の見本となる」という強い覚悟を持って臨みました。グラウンドでは自信に満ちた大きな声で、決してぶれない指揮を出し、全体を鼓舞し続けました。さらに彼らは、指示を出すだけでなく、「生徒たちになってほしい、1つ上、2つ上の行動」を自ら意識し、常に身をもって実践することで、言葉以上の説得力で集団をリードしてくれました。

■ 妥協せず、心を通わせる：ダンスリーダーの粘り強さ

ダンスリーダーたちの活躍も見事でした。「より良いダンスにしたい」という一心で、振り付けの細部や全体の配置移動、フォーメーションの変化について徹底的に思考を巡らせました。そして、昼休みや放課後の限られた時間も惜しむことなく使い、仲間や後輩一人ひとりに対して、熱心に、かつ粘り強く指導を重ね、全体のクオリティと一体感を高めた、素晴らしいダンスを作り上げてくれました。

■ 響き合う心、「やらされ感」ゼロのグラウンド

このような、リーダーたちの真摯な姿勢は、全校生徒へと広がっていきました。練習中、「やらされ感」のある生徒は誰一人おらず、救護テントで見学する生徒も皆無。全員が当事者としてグラウンドに立っていました。

そこにあったのは、熱心に指導してくれる先輩に感謝する後輩の姿であり、一生懸命ついてきてくれる後輩や仲間感謝する先輩の姿です。「互いを尊重し、感謝し合う絆」が、練習の質をさらに高めていき、体育会当日は素晴らしい体育会を作り上げてくれました。

■ 校長の目から見つめて

今回の体育会では、リーダーとなった生徒達が成長しただけでなく、1年生から3年生までの全ての生徒が「失敗を恐れず、より良い体育会を作り上げる」ため、「絶えず自分たちをアップデートしていく力」を身につけてくれたように感じました。自ら高い目標を掲げて行動したリーダーたち、そしてそれに応えた全校生徒が、共に一回りもふた回りも大きく成長した姿は、大変あっぱれでした。ぜひご家庭でもたくさん褒めてあげてください。



体育会での沢山の「Good job!!」 3年生編

《 体育会を終えて：最高学年として、一回り大きく成長した3年生の姿 》

体育会後の3年生「振り返り」には、ブロックや競技の勝敗を超えた、内面的な大きな成長の跡が刻まれていました。体育会の成功を自分事として捉え、自ら課題を見つけ、仲間を鼓舞し、集団をまとめ上げようと3年生の言葉を、いくつか紹介します。

■ 自らの殻を破り、大きな一歩を踏み出した3年生に Good job !

練習開始時は、勇気を振り絞って人前に立ち、全校生徒に自分の意見を伝えていた3年生でしたが、体育会を通して、大きな勇気と自信を手に入れていました。

- ・「なれない中で、クラスメイトがカバーしてくれたおかげで、自分の考えを人前でしゃべれるようになりました」
- ・「良いところを見つけ、優しい伝え方、言い方が成長したと思う」

■ 「当事者」としての強い自覚が生まれた3年生に Good job !

2年生までの「誰かがやるだろう」ではなく、「自分がやる」という主体的な姿勢で取り組む3年生の姿が沢山ありました。

- ・「人まかせにしないで、もし自分にもできそうなら行動に移す。周りをよくみて行動する」
- ・「周りのみんなのために動くことがどれだけ大切なことか学ぶことができ、それができるようになりました」

■ 互いに認め合い、チームワークを高め合った3年生に Good job !

温かい集団の支え合いを創り出し、3年生一人一人が大きく成長しました。失敗しても、意見が違っていても、否定ではなく肯定の言葉でクラスやブロックを一つにしていました。

- ・「誰かを傷つける言葉を使わずポジティブな言葉を使いました。失敗したひとや負けてる人にマイナスな言葉を使わなくなった」
- ・「お互いに自分の意見を伝え合い、認め合いながら話し合うことができました」
- ・「意見が相手と違っていても否定から入らずに、まず受け入れてくれるようになった」

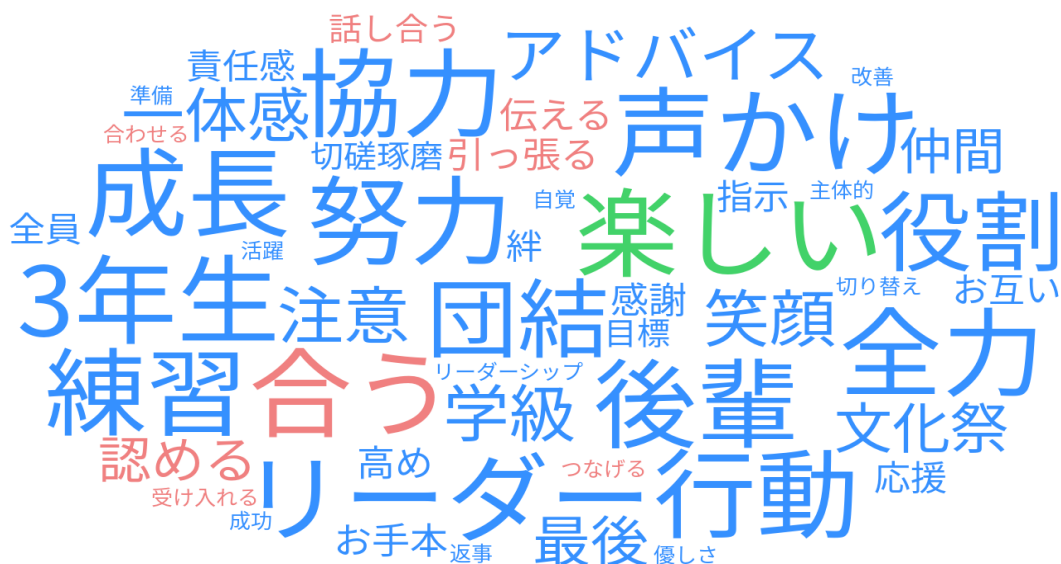
■ 達成感と、未来への決意に、あっぱれ！

全力を出し切ったからこそ得られた感動と成長を、これからの学校生活に繋げていこうと、新たな目標設定をしていました。

- ・「みんなと協力して何かを達成することの良さをとても学んだ」
- ・「1人1人が主役という言葉が印象的だった。勉強や文化祭でも、1人1人がリーダーシップを発揮して、協力して楽しんでいきたい」

【総評】 3年生の振り返りを読んで強く感じたことは、3年生が「自分たちの力で体育会を創り上げた」という誇りです。リーダーを支える周囲のサポートや、下級生への思いやりに触れたコメントが多く、最高学年としての精神的な成長が、言葉の端々から伝わってきました。

3年生にとって、今回の体育会で得た「団結力」と「行動力」、そして「他者への思いやり」は、これからの受験勉強や文化祭においても、必ずや大きな武器となるはずです。素晴らしい成長を見せてくれた3年生に、心からの拍手を送ります。



体育会での2年生の「Good job!!」

《 「一人の力」を「みんなの力」へ変えた、2年生の心が成長した姿 》

体育会を終えた2年生の振り返りシートからは、昨年の「ついていく立場」から、今年は「支え、導く立場」へと大きく脱皮しようとする、頼もしい成長の跡が数多く見受けられました。皆さんに紹介したい、2年生の輝く言葉と、それに対する称賛のメッセージを紹介します。

■ 自ら考え、行動する姿に、Good job!

自らの役割を理解し、指示を待つのではなく「今、自分にできること」を見つけ出そうとする姿勢が非常に立派でした。

- ・「自分で考え、調べ、行動することは、どんな結果でも無駄にはならないと改めて学びました。」
- ・「自分の仕事を見つけて動くこと！わからないことがあったら周りの人に聞いて教え合ったり、協力することの大切さを学んだ。」
- ・「前までは協力することが苦手だったけれど、体育会で協力することができるようになったこと。」

■ 責任感の成長と、2年生という「中堅学年」自覚を自覚する姿に Good job!

3年生を支えつつ、1年生の手本になろうとする、「中堅学年」としての自覚の芽生えが感じられました。そのため、2年生の更なる成長を、おおいに期待しています。

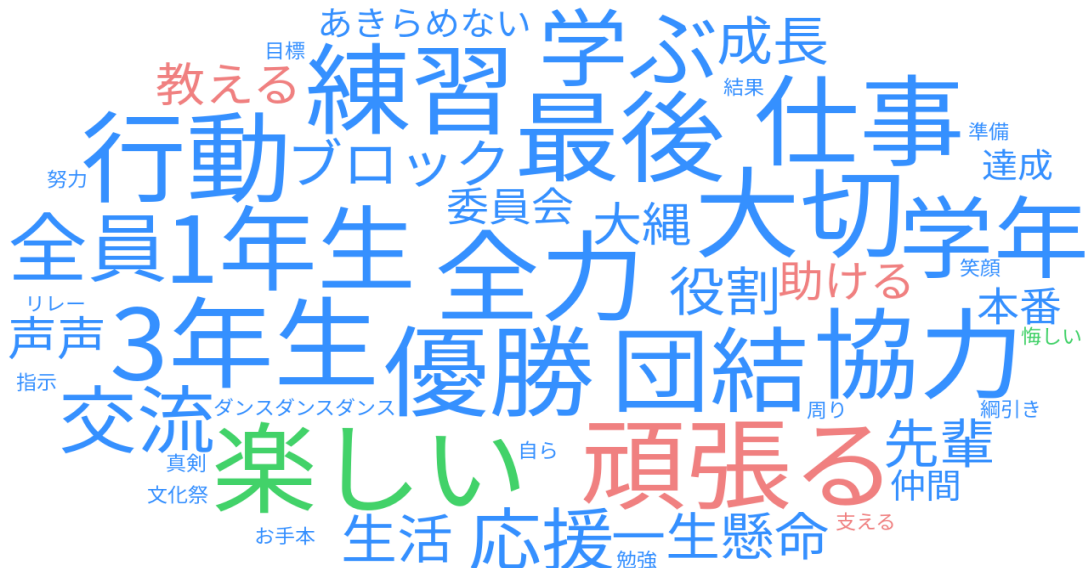
- ・「1年生を引っ張って、3年生を支えるという立場の難しさを学びました。これから3年生の姿を真似して、来年につなげていきたいです。」
- ・「3年生の大変さを考えて、1年生に注意をしたり、並ばせるのを手伝ったりすることができるようになった。」
- ・「次は私たちが引っ張る側なので、3年生がしていた声かけなどを参考にして、次に活かしていきたいです。」

■ 感謝と団結の力。大きく心が成長した姿に あっぱれ!

勝敗を超えて、仲間への思いやりや、集団で一つのことを成し遂げる尊さに気づいたコメントが、とても光っていました。

- ・「1人じゃできないことも、みんなで協力することで、すごいことができるということ。」
- ・「無理だと思ったこともあきらめずに頑張る続けることで成功するかもしれないということ。」
- ・「自分のためにじゃなくて、相手のために動く大切さがないといけないと思った。」
- ・「人がミスしても、はげませたこと。」

【総評】 2年生の言葉には、自分自身の成長と変化を、冷静に見つめる眼差しと、仲間への温かい信頼が溢れていました。この体育会で得た「感謝の気持ち」や「仲間を思いやる気持ち」そして、「主体的な行動力」は、これからの文化祭や定期テスト、そして何より来年の最高学年としての生活で、必ず大きな力となるでしょう。2年生の皆さんの、さらなる飛躍が本当に楽しみです。



体育会での1年生の「Good job!!」

《 自分たちで創り上げた、初めての庄内中学校体育会に挑戦し、成長した姿 》

中学校入学後、初めての大きな行事となった体育会。振り返りシートには、競技の勝ち負け以上に、「中学生としての自覚」と「集団としての絆」を、自らの手で掴み取った確かな成長の言葉が並んでいました。

■ 自ら考え、一歩踏み出す「主体性」が芽生えてきた姿に Good job!

先輩たちからの指示が出る前に、周りを見て自分で判断し、役割を全うしようとする頼もしい姿が見られました。

- ・「先輩方に言われなくても、自分で考えて行動することができるようになった」
- ・「先生たちからの指示をもらう前に、自分たちから行動することの大切さを知った」
- ・「学習委員の仕事を責任を持ってやり遂げることができた」

■ 互いを認め、支え合う「集団」へ成長していく姿に Good job!

互いの失敗を責めるのではなく、励まし合い、共に前を向く「心理的な絆」が各クラスで育まれています。

- ・「失敗した友達がいても、笑ったりバカにしたりせず心配や協力ができた」
- ・「『あいつのせいで負けた』などの嫌な言葉が全くなかったのが嬉しい」
- ・「誰かが失敗しても、絶対に責めたりしなかった」

■ 困難を乗り越える「粘り強さ」と、ポジティブな心が光る姿に Good job!

「きつい」と感じる場面でも、先輩たちと共に体育会の成功を目指し、仲間や自分自身を信じて最後までやり抜く精神的な強さを身に付けていました。

- ・「最後まできつくても、一生懸命やり遂げる力を身につけることができた」
- ・「『自分ならできる』とポジティブに考えを変えたら、結果もついてきた」
- ・「負けそうになっても、最後まであきらめない心を学んだ」

■ 次なるステージへ。日々の学校生活へ繋げていこうとしている姿に あっばれ!

体育会での成功体験を、定期テストや文化祭といった「次の目標」へと繋げようとしていました。

- ・「体育会の時の団結のように、勉強も自分から取り組んだり教え合ったりしたい」
- ・「体育会で真面目に一生懸命取り組めたので、勉強も改めて頑張ろうと思った」
- ・「仲間と協力して何かを成功させる喜びを、文化祭でも活かしていきたい」

【総評】1年生の皆さんがこの体育会で得た「自律」と「共生」の心は、これからの学校生活を支える大きな財産です。この経験を自信に変え、さらに一人ひとりが輝く学年を創っていきましょう！

